

前期基本計画 平成30年度 施策方針評価書

政 策：04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策：07 効率的な汚水処理施設の整備

施 策：01 環境にやさしく快適な下水道の整備

施策担当職・氏名	下水道課主任主査 照井 智穂
-----------------	----------------

1. 施策の平成30年度までの実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道の整備推進により、住民の衛生的で快適な暮らしの確保及び公共用水域の水質保全を図って参りました。老朽化が進む既存施設の効率的な整備を推進し、効果的な下水道環境整備を行って参ります。 ・浄化槽の普及促進により、環境衛生の向上とともに公共用水域の水質汚濁の防止を図って参りました。利用者の生活状況等を踏まえながら、計画的な事業実施を行って参ります。
--	--

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成30年度	進捗率(%)	
1	暮らし 水洗化率(行政区域内人口に対する合併浄化槽も含めた水洗化率) 単位 %	76.7	77.5 82.5	78.5 84.5	79.5 85	80.4 85	80.4 85	A 224.3	
2	幸福 滝沢市に愛着を持っている人の割合 単位 %	74.2	75 72.3	75.7 78.3	76.4 74.6	77 69.2	77 69.2	D △178.6	
	単位								

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推移	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1	1924 滝沢市浄化槽設置整備補助事業 浄化槽設置基数 単位 基	目標値 実績	40 41	47 53	55 44	50 42	65 -	60 -
2	4921 滝沢市水洗便所改造資金利子補給事業 整備人口 単位 人	目標値 実績	8,956 9,268	9,044 9,476	9,476 9,482	9,579 9,547	9,683 -	9,787 -
3	13793 下水道整備事業(汚水) 整備区域内人口 単位 人(累計)	目標値 実績	36,198 36,145	36,610 37,100	37,022 37,202	36,409 37,295	36,497 -	36,584 -
4	13794 北上川上流流域下水道建設負担金 整備区域内人口 単位 人	目標値 実績	36,198 36,145	36,610 37,100	37,022 37,202	36,409 37,295	36,497 -	36,584 -
5	13795 下水道維持管理事業 水洗化人口 単位 人(累計)	目標値 実績	33,227 33,265	33,798 35,219	34,343 35,225	34,632 35,795	35,098 -	35,563 -

前期基本計画 平成30年度 施策方針評価書

政 策 : 04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策 : 07 効率的な汚水処理施設の整備

施 策 : 01 環境にやさしく快適な下水道の整備

施策担当職・氏名 | 下水道課主任主査 照井 智穂

2. 施策の実現に向けての平成30年度までの取り組み状況を分析する

(1) 施策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> ・小岩井処理分区において、継続して汚水処理施設の整備を実施しました。 ・取付管の更新・更生工事を実施し、汚水処理施設の長寿命化を図りました。 ・マンホール蓋の交換を実施し、汚水管への雨水等の侵入を防止しました。 	

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成30年度の重点課題の達成（実現）状況

<p>【重点課題】 持続可能な下水道事業経営のため、老朽管等への対応</p> <p>【重点課題に対する達成状況】 取付管カメラ調査、管渠更生工事、マンホールポンプ制御盤更新等を実施しました。</p>	
---	--

3. 施策の実現に向けての平成30年度実施後での変化を認識する

(1) 施策の実現に影響する社会環境変化

A	社会環境変化なし
当施策に影響する社会環境変化はありません。	

(2) 基本施策との関連性から施策の見直し

A	必要なし
基本施策達成のため、引き続き同一内容の基本施策の実施が必須であるため、見直しの必要はありません。	

4. 施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 平成30年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

A	課題なし
<p>【今後の方向性】 快適なまちの実現に向け、引き続き汚水処理施設の整備を進めます。</p> <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アセットマネジメント計画の策定すること ・事業計画を変更すること 	

